

2.22 SUN

13:00 - 18:00

金沢市民芸術村内

パフォーミングスクエア

才能よ、
呪文を唱えよ。

AIは、ヒトの何を解放するのか

EAT
EAT KANAZAWA 2026

OPENING
SPECIAL LIVE SESSION

ミヤタコーヘイ | クラシックの反逆者

REATMO | 進化形ヒューマン・ビートボックス / 音楽プロデューサー

徳井 直生 | アーティスト / AI研究者 / Neutone CEO

村山 卓 | 金沢市長

宮田 人司 | Mistletoe Inc. 代表 / Tonko House Japan 代表

菅野 薫 | (つづく) Creative Director, Creative Technologist

お問い合わせ: eat-kanazawa@c1l.or.jp | 主催: EAT KANAZAWA 実行委員会 共催: 金沢市

EAT KANAZAWA 実行委員会: 中島 信也 / 山口 裕美 / 秋山 具義 / 小西 利行 / 菱川 勢一 / 宮田 人司 / 上町 達也 / 北川 力 / 林田 堅太郎 / 大野 要弓

SUPER TALK SESSION 01

技術は、いつも
『音楽の外』からやって来る

REATMO

進化形ヒューマン・ビートボックス / 音楽プロデューサー

徳井 直生

アーティスト / AI研究者 / Neutone CEO

齋藤 拓也

正林国際特許商標事務所 弁護士

宮田 人司 (モデレーター)

Mistletoe Inc. 代表 / Tonko House Japan 代表

SUPER TALK SESSION 02

AIは
職人になれるのか?

塙 芽衣

Spade&Co. VFX プロデューサー

秋吉 浩気

VUILD 株式会社 代表取締役 CEO、建築家、
メタアーキテクト

杉本 雅明

Aquonia REPUBLIC (CXO)、Hornfels G.K. 代表
Elephantech 共同創業者・顧問

上町 達也 (モデレーター)

secca inc. 代表取締役 / デザイナー

SUPER TALK SESSION 03

タイトルは
その場で決めます

小西 利行

POOL INC. ファウンダー / コピーライター

林田 堅太郎

KAMU kanazawa 館長

原田 朋

クリエイティブディレクター /
PRディレクター / コピーライター

北川 力 (モデレーター)

Eau&Company 株式会社 代表取締役

EAT KANAZAWA
2026 チケットの
お申込はこちら

参加無料
定員: 200名



才能よ、 呪文を唱えよ。

- AIは、ヒトの何を解放するのか -

EAT が問い続けた「才能」の現在地。AIは、ヒトの何を解放するのか。

EAT 金沢が AI をテーマにする理由は、

それが1997年から一貫して追いつけてきた『テクノロジーと人間の才能』というテーマの、最も現代的で本質的な現れだからに他なりません。

『才能よ、呪文を唱えよ。』

AIに唱える言葉は、もはや「呪文」だ。それは、自分自身を映し出す「鏡」であり、旧来の才能の「OS」を根底から書き換える力を持つ。

AIとの対話は、新しい自分を設計する創造行為そのものだ。

さあ、未来を創るための、新しい創造作法を探求しよう。

13:00-13:10



OPENING SPECIAL LIVE SESSION

オープニングでは SUPER TALK SESSION 01 にご登壇いただくゲストに加え、(つづく) Creative Director, Creative Technologist の菅野薫さん、そしてフルート奏者でもある金沢市・村山市長にも出演いただき、クラシックから AI を活用した最新の演奏まで新旧の技術と表現を合わせた特別なライブパフォーマンスを行います。

ミヤタコーヘイ | クラシックの反逆者

REATMO | 進化形ヒューマン・ビートボックス / 音楽プロデューサー

徳井 直生 | アーティスト / AI 研究者 / Neutone CEO

村山 卓 | 金沢市長

宮田 人司 | Mistletoe Inc. 代表 / Tonko House Japan 代表

菅野 薫 | (つづく) Creative Director, Creative Technologist

13:20-14:30

SUPER TALK SESSION 01

技術は、いつも『音楽の外』からやって来る

シンセサイザー、打ち込み、そして AI。音楽は常に「音楽の外」からやってきた技術によって更新されてきた。本セッションでは、AI 研究者、DJ、弁理士、演奏家、制作者という異なる立場から、技術がどのように音楽となり、なぜそのたびに否定や違和感が生まれるのかを歴史的・構造的に紐解いていく。AI 音楽をめぐる議論を入口に、創作、身体性、知財、そして文化へと広がる回路を見渡しながら、テクノロジーは音楽を壊してきたのか、それとも育ててきたのかを考える。

REATMO | 進化形ヒューマン・ビートボックス / 音楽プロデューサー

徳井 直生 | アーティスト / AI 研究者 / Neutone CEO

齋藤 拓也 | 正林国際特許商標事務所 弁理士

宮田 人司 (モデレーター) | Mistletoe Inc. 代表 / Tonko House Japan 代表



14:40-16:00

SUPER TALK SESSION 02

AIは職人になれるのか？

技術(道具)と共に進化を続けてきた我々人類は、それを巧みに操る者=職人によって新たな価値を創り出してきた。しかし AI はこれまでの道具の域を超え、人にとっての共創者にさえなり得ることが示唆されている。AI は操るものなのか、私たちが AI に操られる存在なのか、はたまた対等な共創者となり得るのか。最新のテクノロジーを操りものづくりを担ってきたゲストとその未来について議論する。

堀 芽衣 | Spade&Co. VFX プロデューサー

秋吉 浩気 | VUILD 株式会社 代表取締役 CEO、建築家、メタアーキテクト

杉本 雅明 | Aquonia REPUBLIC (CXO)、Hornfels G.K. 代表、Elephantech 共同創業者・顧問

上町 達也 (モデレーター) | secca inc. 代表取締役 / デザイナー



16:10-17:30

SUPER TALK SESSION 03

タイトルはその場で決めます

このセッションのタイトルは、決められなかった。AI が提示する無数の「正解っぽいもの」から、自信を持って選び切れなかったからだ。誰もがつくれる時代、増えるのは創造だけではない。「それっぽいノイズ」- AI スロップ (ゴミ) - の濁流。そこから何を掘り上げるか。選択肢が氾濫するいま、価値は「つくる」から「決める」へ移るのではないか。何を入力し、どこを目指し、何を、なぜ選ぶのか。クリエイティブディレクターとアートキュレーターと共に、次代のクリエイティブの輪郭を問い直す。

小西 利行 | POOL INC. ファウンダー / コピーライター

林田 堅太郎 | KAMU kanazawa 館長

原田 朋 | クリエイティブディレクター / PRディレクター / コピーライター

北川 力 (モデレーター) | Eau&Company 株式会社 代表取締役



2.22 sun | 夜塾 待望の夜塾が形を変えて復活！

EAT KANAZAWA ではコロナ前までずっと拘って来た宴があった。その名も「夜塾(よじゅく)」。

当時は温泉宿を貸切り、EAT の登壇者と一般参加者が浴衣姿で膝を付き合わせ、時には明け方まで語り尽くす贅沢な時間が刺激に満ちていた。著名なゲストとこんな距離で語り合えるイベントは他に類を見ない。コロナ渦で封印されたこの名物イベント「夜塾」が、今回形を変えて復活することとなった。世代や立場を超え、もっと面白い未来について熱く語らしましょう！

A RESTAURANT

19:30 OPEN 24:00 CLOSE

※未成年者の参加は23時までとさせていただきます。

※夜塾は宿泊を伴いません。

TICKET

一般 5,000 円 | 大学生 2,500 円 | 高校生 無料

